

温 泉 成 分

1 源泉名 仮屋湾源泉

2 知覚試験 無色透明 無味 無臭

3 泉質 単純温泉（低張性・弱アルカリ性・高温泉）

4 ゆう出地における試験成績

(1) 泉温 46.7℃ (2) pH 8.33

5 試験室における試験成績

(1) 蒸発残留物 0.511g/kg (2) 成分総合計 0.677g/kg

(3) 本泉 1 kg中に含有する成分・分量及び組成 (mg)

陽イオン		陰イオン		遊離成分	
チウムイオン	0.2	フッ素イオン	13.0	非解離成分	
ナトリウムイオン	182.5	塩素イオン	61.8	メタケイ酸	26.0
カリウムイオン	1.3	臭素イオン	0.2	メタホウ酸	16.9
マグネシウムイオン	0.2	水酸イオン	0.0	計	42.9
カルシウムイオン	3.3	硫酸イオン	37.3	溶存ガス成分	
マンガンイオン	0.0	炭酸水素イオン	322.5	遊離二酸化炭素	0.0
フェロイオン	0.0	炭酸イオン	11.7	計	0.0
アルミニウムイオン	0.0				
ストロンチウムイオン	0.2				
計	187.7	計	446.5		
その他の成分		総ひ素	0.024 mg/kg		

6 分析年月日 平成 25 年 7 月 1 日

7 分析者 一般財団法人 佐賀県環境科学検査協会

8 登録番号 41 第 0002 号

禁忌症、適応症及び入浴上の注意

1 浴用の禁忌症

急性疾患（特に熱のある場合）
 活動性の結核
 悪性腫瘍
 重い心臓病
 呼吸不全
 腎不全
 出血性疾患
 高度の貧血
 その他一般に病勢進行中の疾患
 妊娠中（特に初期と末期）

2 浴用の適応症

神経痛
 筋肉痛
 関節痛
 五十肩
 運動麻痺
 関節のこわばり
 打ち身
 くじき
 慢性消化器病
 痔疾
 冷え性
 病後回復期
 疲労回復
 健康増進

3 浴用上の一般的注意事項

- ア…温泉療養を始める場合は、最初の数日の入浴回数を1日当たり1回程度とすること。その後は1日当たり2回ないし3回までとする。
- イ…温泉療養のための必要な期間は、おおむね2ないし3週間を適当とする。
- ウ…温泉療養開始後おおむね3日ないし1週間前後に湯あたり（湯さわり又は浴湯反応）が現れることがある。「湯あたり」の間は、入浴回数を減じ又は入浴を中止し、湯あたり症状の回復を待つこと。
- エ…以上のほか、入浴には次の諸点について注意すること。
- （ア）入浴時間は、入浴温度により異なるが、最初は3分ないし10分程度とし、なれるにしたがって延長してもよい。
- （イ）入浴中は、一般に安静を守る。但し運動浴は、別とする。
- （ウ）入浴後は、身体に付着した温泉の成分を水で洗い流さない。但し湯ただれを起ししやすい人は逆に真水で洗うか、温泉成分を拭き取るのがよい。
- （エ）入浴後は、湯冷めに注意して一定の安静を守る。
- （オ）次の疾患については、原則として高温浴（42℃以上）を禁忌とする。
 ①高度の動脈硬化症 ②高血圧症 ③心臓病
- （カ）熱い温泉に急に入ると、めまい等を引き起こすことがあるので十分に注意をする。
- （キ）食事の直前・直後の入浴は避けることが望ましい。
- （ク）飲酒してからの入浴は、特に注意する。

4 決定年月日 平成25年7月1日

温泉水は、飲用しないでください。

玄海海上温泉パレア支配人